

総合原価計算 第20問 問題

当社では、製品を連続生産しており、単純総合原価計算を行っている。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。なお、減損の計算方法は、度外視法を採用している。また、完成品単位原価の計算において端数が生じた場合は、小数点以下第2位で四捨五入しなさい。

(資料) ① 当月生産データ

月初仕掛品	2,000 kg (80%)
当月投入	<u>13,000</u>
合計	<u>15,000</u> kg
月末仕掛品	1,800 kg (70%)
正常減損	700
完成品	<u>12,500</u>
合計	<u>15,000</u> kg

(注1) 原料はすべて工程の始点で投入される。

(注2) ()内の数値は加工進捗度を示している。

(注3) 正常減損の発生点は不明である。

② 月初仕掛品原価、当月製造費用

	月初仕掛品原価	当月製造費用
原料費	697,200 円	3,936,000 円
加工費	<u>1,271,680</u>	<u>9,873,920</u>
合計	<u>1,968,880</u> 円	<u>13,809,920</u> 円

問1 平均法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

問2 先入先出法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

	問1	問2
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

総合原価計算 第20問 模範解答

	問 1	問 2
月末仕掛品原価	1,603,800 円	1,599,120 円
完成品総合原価	14,175,000 円	14,179,680 円
完成品単位原価	1,134 円/kg	1,134.4 円/kg

【解説】

正常減損の発生点が不明の場合は、工程の始点で発生したものとみなす。

生産データ				
2,000	1,600	12,500	12,500	加工換算量 ; 月初仕掛品 2,000kg×80%=1,600kg 月末仕掛品 1,800kg×70%=1,260kg 正常減損 700kg×0%=0kg
		700	0 (0)	
13,000	12,160	1,800	1,260 (0.7)	

問 1

総合原価計算表					
(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
月初仕掛品	2,000	697,200	1,600	1,271,680	1,968,880
当月投入	13,000	3,936,000	12,160	9,873,920	13,809,920
合 計	15,000	4,633,200	13,760	11,145,600	15,778,800
正常減損	700	—	0	—	—
差 引	14,300	4,633,200	13,760	11,145,600	15,778,800
月末仕掛品	1,800	583,200	1,260	1,020,600	1,603,800
完 成 品	12,500	4,050,000	12,500	10,125,000	14,175,000

完成品単位原価 ; 14,175,000円 ÷ 12,500kg = 1,134円/kg

問 2

総合原価計算表					
(先入先出法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
当月投入	13,000	3,936,000	12,160	9,873,920	13,809,920
正常減損	700	—	0	—	—
差 引	12,300	3,936,000	12,160	9,873,920	13,809,920
月末仕掛品	1,800	576,000	1,260	1,023,120	1,599,120
差 引	10,500	3,360,000	10,900	8,850,800	12,210,800
月初仕掛品	2,000	697,200	1,600	1,271,680	1,968,880
完 成 品	12,500	4,057,200	12,500	10,122,480	14,179,680

完成品単位原価 ; 14,179,680円 ÷ 12,500kg = 1,134.4円/kg